

情報通信審議会情報通信技術分科会
衛星通信システム委員会（第15回）会合 議事要旨

- 1 日時
平成21年6月9日（火）10時00分から11時00分
- 2 場所
総務省11階 11階会議室
- 3 出席者（敬称略、順不同）
 - (1) 構成員
服部 武（主査）、大谷 進、尾上 誠蔵、門脇 直人、河合 宣行（代理：渡辺 誠二）、川口 さち子、佐藤 祐子、篠塚 隆、高橋 和子、徳永 恭子、西尾 裕一郎、正村 達郎、三浦 佳子、室田 和昭（代理：坂戸 美朝）、若尾 正義
 - (2) 説明者
鈴木 龍太郎、田中 靖人、山本 勝美
 - (3) オブザーバ
高度通信振興課 小津推進官
 - (4) 事務局
衛星移動通信課 鳥巢課長、新田企画官、永田課長補佐、吉田係長、田野係長
- 4 議事概要
議事に先立ち、説明者の紹介、主査の交代及び挨拶、構成員の変更、資料配付の確認が行われた後、以下の議題について審議が行われた。
 - (1) ヘリサット作業班の構成員の変更について
事務局から資料15-1に基づき「ヘリサット作業班の構成員の変更」について説明があり、承認された。
 - (2) 意見募集の結果について
事務局から資料15-2に基づき「意見募集の結果」について説明があり、案の通り、事務局において報道発表の手続を進めることとなった。
 - (3) Ku帯VSATシステムの高度化に関する技術的条件について
事務局から資料15-3-1及び15-3-2に基づき、報告書概要版及び報告書の前回委員会からの修正部分について説明が行われた後、以下の質疑応答があった。
 - 報告書概要版において、「周波数利用効率が従来の2倍になる無線技術」と書かれているが、これは2倍で間違いはないか。（正村専門委員）
 - より正確な表現に修正する。（事務局）
 - 適用周波数の拡張について、周波数共用で主に検討されたのは、同一帯域か隣接帯域か。（服部主査）
 - 同一帯域である。結論としては、実際の混信状況を判断し、必要に応じてVSAT地球局の受信周波数を切り替えることとなる。（事務局）
 - 技術的な内容は整理されたが、実利用の観点からはどうか。VSATシステムの有用性については、特にヨーロッパ等で期待されており、再度見直されている

ると聞いているが。(服部主査)

- そのとおりである。離島・山間地を含むデジタル・ディバイド対策や、自治体等での災害対策に有用であり、新技術等により効率化され安価となることが期待されている。(西尾専門委員)
- 世界的に VSAT 地球局の需要が伸びており、コストパフォーマンスも高まっている。(田中説明者)
- ベンダーとしても、これらの技術が実用化される点については歓迎している。
- VSAT 地球局の実利用が進むことを期待したい。(服部主査)
- 技術の進展によって便利になることは好ましいことである。また、具体的にどのようなことが出来るようになるか、利用者に分かりやすく周知すべきである。(三浦専門委員)
- 生活者の視点は大切であるので趣旨を踏まえて意義を周知していきたい。(事務局)
- 本報告書には、技術的な用語が多いので、技術的な用語の解説を添付してはどうか。(服部主査)
- ご指摘を踏まえて、技術的な用語の解説を添付することとしたい。VSAT システムは、離島等でのデジタル・ディバイド対策や BCP (事業継続計画) 対策等で期待されているシステムである。衛星はこれらの最後の砦であり、ご指摘の通り利用者への認知が進むことが重要である。ぜひ普及促進にご協力頂きたい。(事務局)

(5) 今後のスケジュールについて

事務局から今後のスケジュールについて説明が行われ、報告書概要版及び報告書について本委員会での指摘事項を反映した上で、6月23日に開催予定の情報通信技術分科会に報告する予定である旨説明があった。

<配付資料>

- 資料 15-1 ヘリサット作業班構成員名簿
- 資料 15-2 意見募集で提出された意見及び委員会の考え方
- 資料 15-3-1 衛星通信システム委員会報告概要版 (案)
- 資料 15-3-2 衛星通信システム委員会報告書 (案)

- 参考 15-1 衛星通信システム委員会 (第 14 回) 会合 議事要旨
- 参考 15-2 衛星通信システム委員会構成員名簿